

《全体》

Q：推薦入試の受験に必要な条件は何ですか？

A：「平成 26(2014)年度 入学者選抜要項」の P8～P9、「平成 26(2014)年度 学生募集要項 推薦入試」であれば、P1～P5 に各学科の出願資格を記しています。ご不明な点があれば、入学試験実施本部にお問い合わせください。

Q：小論文の対策はどのようにすれば良いですか？

A：新聞の社説等を、一定の時間制限の下で熟読し、その要旨を例えば一定字数以内にまとめて書いたり、その内容に対する自分の意見を述べたりする練習を繰り返し行なうことが大切です。また、自身で執筆した論文を先生に添削してもらい、客観的な評価を受けることも大切です。

Q：大学卒業後の進路について、高校生のうちから考えておくべきでしょうか？

A：進路については目標を決めて早期から取り組むことに越したことはありませんが、大学に入学後、進路の選択肢を広げ、新たな可能性にチャレンジする学生もいます。

Q：公務員志望者への支援について

A：公務員志望者対象のガイダンスを定期的に開催し低学年からの意識付けを行っています。また、課外講座として外部から専門の講師を招き、「公務員試験対策講座」を開講しています。

Q：専門知識をそのまま就職の対策へつなげることはできるのでしょうか？

A：業種によっては関連する場合がありますが、必ずしも就職の対策に直結するわけではありません。しかしながら大学で学んだ内容が、就職活動だけでなく実際に社会で働く上で活用できる部分もあるため、しっかり大学でその知識を身につけることが大切です。

Q：編入学試験の内容について

A：ホームページ内編入学試験実施要項をご参照ください。

Q：下宿先を斡旋していますか？

A：斡旋は行なっておりません。但し、民間経営の下宿・アパート・ワンルームマンション等の下宿の資料を 11 月下旬から本学の玄関前に置いています。また、合格通知とともに、下宿等の情報紹介先を掲載した用紙をお送りします。

Q：寮について教えてください

A：大学周辺に約 40 軒の寮があります（全て民間経営）。家賃は市街地で一人暮らしをするよりも比較的安価です（家賃 2 万～3 万程度）。

Q：車の免許はどうやって取得しましたか？

A：長期休暇を利用して取得する方が多いです。大学近隣にも自動車教習所があり、大学への送迎なども行っています。

Q：アルバイトはどうやって探しましたか？

A：大学が学生を対象にアルバイトを斡旋しています。また、個人でインターネットや電話でアルバイト先を探す学生もいます。

Q：奨学金について教えてください

A：種類によって様々です。本学学生でも奨学金を利用している学生は多数います。詳細については大学案内の P101 をご参照ください。

Q：クラブ・サークルについて

A：ほとんどの学生がクラブ・サークルに在籍しています。本学は運動系から文化系までバラエティーに富んだクラブ・サークルがあります。また同好の有志を募って同好会を立ち上げることも可能です。詳細は大学案内 P97～P99 をご覧ください。

Q：部活やサークルとアルバイトの両立は出来ますか？

A：時間を上手にやり繰りすれば十分可能です。本学にも学業、部活、アルバイトと両立している学生は多数います。

Q：バスの便は多いですか？

A：多いです。授業期間中であれば、尾道駅から大学までのバスは、朝の 8 時台であれば、6 本あります。

Q：推薦入試の面接ではどのようなことが聞かれましたか？

A：面接での質問事項は非公表です。受け答えの練習等、一般的な対策は必須です。

Q：一人暮らしは大変ですか？

A：まかない付の場合は食事の心配が不要ですが、アパート暮らしでは自炊ができないと大変かもしれません。

Q：自転車通学は可能ですか？

A：可能です。市街地から通学する場合は時期によっては大変ですが自転車通学を続けている学生もいます。

Q：尾道の観光について

A：店や商店街など歴史ある寺院等、非常に趣のある街並みです。

《経済情報学科》

Q：資格取得について

A：高等学校教諭一種免許の「商業」と「情報」を取得することができます。

簿記・税理士・中小企業診断士、公務員試験など関連資格試験に精通している教員もおり、試験についての相談が可能です。

Q：経済情報学部の魅力は何ですか？

A：経済・経営・情報の3分野をバランスよく学ぶことができるのが魅力です。3年次よりこれらの分野から専攻分野を選択し、それぞれの分野の研究を深めていきます。受験の際に、上記の魅力を本学経済情報学科の志望理由に挙げている学生も多数います。

Q：この学科を選択してよかったことを教えてください。

A：ニュースなどで報道されている現在の経済情勢を身近にかつ具体的に感じる事ができます。

短期語学留学制度があり、希望者は語学の研修も行うことができます。

講義の中でパソコンを使う機会も多く、ITスキルを向上させることができます。

Q：商業科で数学・英語が苦手なのですが、授業についていくことができますか？

A：数学・英語は基礎レベルから学ぶことのできる講義があります。特に数学は高校数学の復習から学べるようになっていますので無理なく学力を養成できます。

《日本文学科》

Q：日本文学科の就職状況について

A：業界内では比較的難関である出版社、或いは公務員や教員志望者が多く、現役ではなかなか結果に結びついていないのが現状です。しかしながら志望進路の対策を早期から積極的に行い、難関試験を突破している学生もいます。

Q：司書の資格は取得できますか？

A：司書の資格は学外で必要な講習を受講し大学卒業後、取得することができます。本学では司書資格を得るために必要な授業は開講しておりません。

Q：国語の教員免許は取得できますか？

A：可能です。所定の課程を修め、申請の後、中学・高校の国語の第一種教員免許が取得できます。また、同様に所定の課程を修めることで学芸員の資格も取得できます。

Q：就職先について教えてください

A：就職先については様々です。民間企業であれば卸、小売業だけでなく、出版業や教育支援業などに進まれる方が比較的多いです。また公務員や教員志望者も比較的多いのが特徴です。

Q：本はたくさん読まなければいけないのでしょうか？

A：様々なジャンルや時代の書籍に触れることは自らの教養を高めることにもつながるため、読んでおいた方がよいでしょう。

Q：一般入試は何を重点的に勉強すべきですか？

A：センター入試では国語と外国語（英語）のウェイトが高く、個別学力検査では国語のみが課されます。よって国語は最重要科目、次に英語でしょう。他科目はセンター試験の対策をしっかりと行い得点に結びつけることが大切です。

《美術学科》

Q：尾道市立大学の美術学科を選んだ理由は何ですか？

A：尾道の独特な土地柄と景観が制作・創作活動を行う上で非常に恵まれていると考えたためです。

Q：資格取得について

A：所定の課程を修め、申請の後、中学・高校の美術の第一種教員免許が取得できます。

また、同様に所定の課程を修めることで学芸員の資格も取得できます。

Q：楽しかった講義は何ですか？

A：スケッチをしに毎日バスで色々な所へ行った実習です。実際に自然の中で様々なものに触れることでインスピレーションが湧いてきます。

Q：画材はどこで買っていますか？

A：大学内のコンビニエンスストアの中に画材屋があり、そこで購入できます。また駅近くの画材屋や通信販売なども利用しています。

Q：2年次からのコースの選択はどういう基準で決めているのですか？

A：高校の時から得意分野でコースを選択する学生もいれば、1年次の実習を終えて、興味のあるものや楽しかった分野を選択する学生もいます。実際、大学に入ってから油画や日本画を始めた学生もいます。

Q：絵を描ける時間は何時までですか？

A：実習は火曜日の13:10～18:00まで、延長届を出せば20:00までアトリエを使用することができます。あとは講義の入っていない時間に描いています。原則土日は開いていません。

Q：入試の対策として何を頑張ればよいですか？

A：とにかく実技の対策を毎日欠かさず行うようにしてください。尚、美術学科は平成27(来)年度から入試の内容が変更となりますので注意してください。

《その他》

その他の質問として、受験の対策、生活費、アルバイト、近隣の病院、通学方法、一人暮らしについてなど様々な質問がありましたが、ケースにより回答が異なります。詳しくは尾道市立大学へお問い合わせください。(入試に関しては、非公表の為お答えできない内容もありますので、予めご了承ください)